港区探訪

レトロ・ニッポンに会える場所

港区近代建築めぐり

バックナンバー

第6回 松方ハウス

明治から昭和初期の戦前に建てられた「近代建築」をめぐるシリーズ。
日本の伝統的な工法や意匠、それを支える職人の技術と、西洋の建築様式・意匠・技術が融合していった時代の、魅力あふれる建物たちを訪ねます。

大豪邸がたどった数奇な運命と国際人の育成を目指した母娘

麻布の静かな住宅街にある西町インターナショナルスクール。
子どもたちの元気な声が響く学校の敷地内に、どこか懐かしさを感じさせる洋館「松方ハウス」があります。
近代的な校舎と並んで建つ松方ハウスは、90年以上前に建てられ、東京都の歴史的建造物にも指定されている近代建築です。

松方ハウスは、西町インターナショナルスクールの創立者・松方種子氏の両親、松方正熊・美代夫妻が建てた私邸でした。
設計したのは関西を中心に多くの学校や教会を手がけたアメリカ人建築家、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏です。

種子氏の母、美代夫人は、子どもたちに国際的な教育を受けさせたいとアメリカ人の家庭教師を雇い、自宅で英語塾を開きます。その後、友人たちの子女も受け入れ、西町アカデミーとなっていきました。
戦中、松方一家はいったん東京を離れ、その間、松方ハウスはスウェーデン大使館、ルーマニア大使館として使用されました。
戦後もベネズエラ大使館として使用され、松方家に返還されたのは1965年でした。

戦後、西町に戻ってきた種子氏は、1949年、母の意志を継ぐように松方ハウスの近隣で英会話を教える教室を開校。最初は4人の生徒から始まった教室は、やがて西町スクールへと発展していきます。
松方ハウスが返還され、この建物で授業ができるようになった頃には、生徒は200人前後まで増えていました。

【建物DATA】

松方ハウス
竣工：1921年（大正10年）
設計：ウィリアム・メレル・ヴォーリズ
階数：3階建（地上3階、地下1階）
構造：木造
施工：竹中工務店

暮らす人のための心くばりがあちらこちらに見られる名建築

松方ハウスはコロニアルスタイルを取り入れた邸宅と言われています。
クラシックだけれどスタンダードで古さを感じさせない、どの時代にも溶け込むシンプルなデザインは、今でも色あせることがありません。

最も特徴的なのが、イタリアでぶどう棚を意味するパーゴラに似せたパーゴラひさし。当時は馬車寄せのあった表玄関ですが、減築によりひさしだけが残っています。
外壁はモルタルをブラシで掃きつけたドイツ壁で、独特の味わいがあります。

屋内は白い壁と木目を生かした梁が昔の面影を残しつつも、暖かな雰囲気を感じさせます。
天井が高く窓も多いため、自然光が降り注ぐ気持ちのよい空間。
家の中央にある階段の手すりがつかまりやすいよう丸みを帯びていたり、当時としては珍しいセントラルヒーティングが設置されていたりと、住む人の気持ちを考えたヴォーリズ建築ならではの心くばりがあちらこちらに見られます。

もうひとつ特徴的なのが、4つの部屋にある暖炉。滋賀県近江にある旧ヴォーリズ邸と同じように作られた暖炉はクラシックスタイルで、家族団らんの時を想像させてくれます。

私邸からみんなの学校へ。今も多くの人々を受け入れる建物

現在の松方ハウスは校長室や管理部門のオフィスなどがある本館、事務棟ですが、以前は実際にこの建物で授業が行われていました。
リビングルームなどは図書館として、2階の子ども部屋や寝室は教室として、また、家族が集った音楽室は種子氏の校長室として。和室も授業に使用するなど、広い邸宅は学校として機能していました。
2009年には建物内を中心に耐震補強のための改築が行われましたが、残せる既存の部分は残し、往時の雰囲気をできるだけ壊さぬように維持しています。

時代によって用途を変えてきた松方ハウスは、今も昔も、そして今後も「WELCOME」の気持ちで人々を温かく迎え入れてくれるでしょう。

約30年前にタイムスリップ

1970年代後半に撮影された写真。
松方ハウスの前は広々としたグラウンドでしたが、現在は牛場信彦記念体育館が建てられています。
奥に見えるのは減築前の松方ハウスで、現在は存在しないサンルームが見られるなど、時代とともに変化していった建物の姿を見ることができます。

見どころをチェック

写真左：松方のMをかたどった外壁のマークはヴォーリズ氏のデザイン。
写真中：パーゴラひさしのある屋根には耐震補強が施されています。
写真右：レンガ造りの地下室は、建物内の暖房用ヒーターのための燃料である石炭の貯蔵場所としても使われていました。

写真左：今は使われていませんがカラフルな暖炉は当時のまま。
写真中：出入り口の上部には格子状のデザインが施されています。
写真左：1990年頃の玄関の様子。ひさしの下は室内になっていました。

◆松方ハウス（西町インターナショナルスクール内）

港区元麻布2-14-7
東京メトロ 広尾駅より徒歩15分、麻布十番駅より徒歩10分
TEL 03-3451-5520
※西町インターナショナルスクールの敷地内にありますので、建物内の見学はできません。

取材協力：西町インターナショナルスクール 渉外開発室
参考文献：「Nishimachi:Reflections at Fifty」Nishimachi International School

▲このページのトップへ

｜個人情報保護について [PDF]｜

Kissポート財団
(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ
電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884
お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp

Kissポート財団について

ISO 9001
ISO 14001
JQA-QMA12663
JQA-EM4580
10861140(03)

このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。